

MOVE TO THE NEXT LEVEL



INTERNATIONAL BASKETBALL GAMES 2023 三井不動産カップ 2023

バスケットボール女子日本代表
国際強化試合（高崎大会）

6.16 FRI 18:00 [予定] | 6.17 SAT 15:00 [予定] | 6.18 SUN 15:00 [予定]
TIP OFF [予定] TIP OFF [予定] TIP OFF [予定]

高崎アリーナ（群馬県高崎市） | 日本代表 VS デンマーク代表

■主催：公益財団法人日本バスケットボール協会 ■主管：公益財団法人日本バスケットボール協会 ■協力：一般財団法人群馬県バスケットボール協会 ■後援：高崎市 / 公益財団法人高崎財団

OFFICIAL PROGRAM

小2から
バスケット
やっていたのに。
涙すず

ポジションはガード。

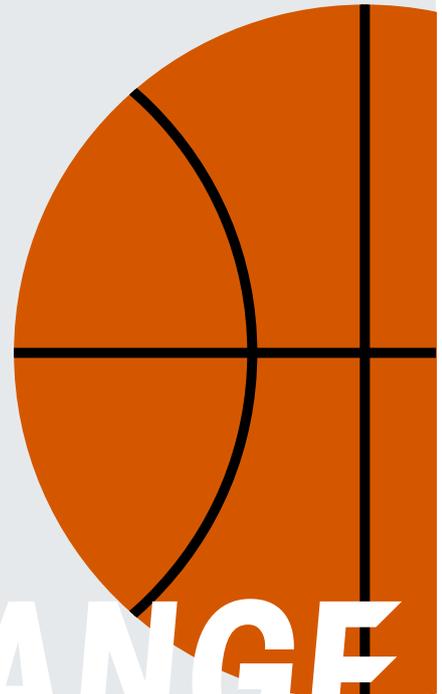
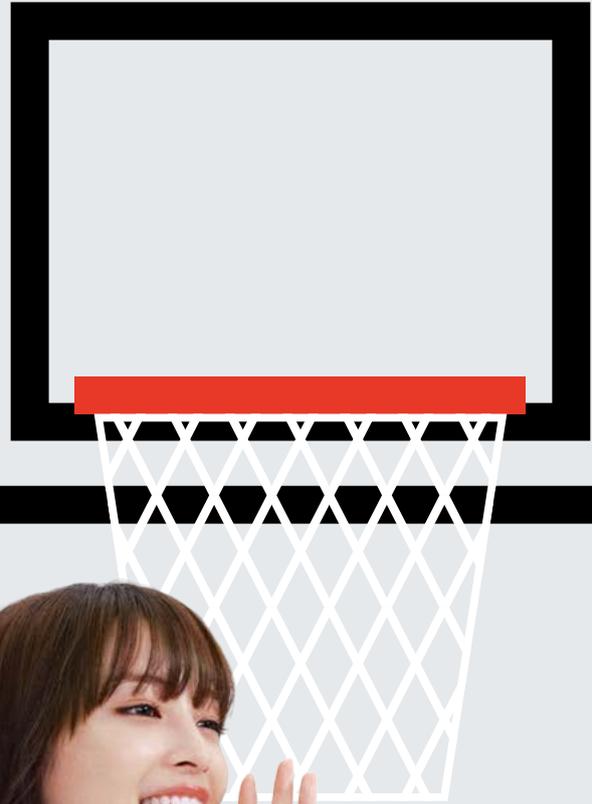
この仕事を
していなかったら、
まだどこかで
バスケットをしていたかも。

バスケットに
教えてもらったことは
いっぱい。
全力で応援
したいと思います。



三井不動産
MITSUI FUDOSAN

TEAM JAPANゴールド街づくりパートナー



BE THE CHANGE



公益財団法人 日本バスケットボール協会 会長
President, Japan Basketball Association

三屋 裕子 Yuko Mitsuya

このたび、女子デンマーク代表チームを群馬県高崎市にお迎えし、「三井不動産カップ2023(高崎大会)バスケットボール女子日本代表国際強化試合」を開催できますことを、大変うれしく思います。来日いただきました女子デンマーク代表チームの皆様にも、心から感謝いたします。

今大会は、FIBA女子アジアカップでの6連覇を目指す女子日本代表チームにとって、貴重な国際試合の機会です。安心安全な大会とするべく最善を尽くしますので、ファンの皆様におかれましては、会場で、あるいはテレビ中継やインターネット配信を通じ、ぜひ試合をお楽しみいただき、女子日本代表チームへのご声援をよろしくお願いいたします。

結びに、特別協賛をいただきます三井不動産株式会社様をはじめとする協賛各社様、また本大会の開催にあたりご尽力いただきます皆様方にお礼を申し上げますとともに、今大会の成功を祈念いたします。

We are very pleased to organize the "International Games for Japan Women's Basketball National Team Mitsui Fudosan Cup 2023 (Takasaki)" and welcome Denmark's Women's National Team to Takasaki. We would also like to express our sincere gratitude to all the members for traveling to Japan.

These international games would be a valuable opportunity for the Japan Basketball Women's National Team as they aim to win their sixth consecutive FIBA Women's Asia Cup. We will do our best to organize the event safe and secure so that fans could enjoy the games at the venue or through the internet, on TV and look forward to seeing your support to our national team.

In conclusion, I would like to send my sincere appreciation to Mitsui Fudosan Co., Ltd. for the special sponsorship and all other sponsors and stakeholders that has made an effort to organize this event and wishing the successful organization of the games.



デンマークバスケットボール連盟 会長
President, Denmark Basketball Federation

マッツ ヤング クリステンセン Mads Young Christensen

デンマークバスケットボール連盟を代表し、日本バスケットボール協会からのご招待に対し、心より感謝申し上げます。

皆様の素晴らしい国を訪れ、国際強化試合を通じて、両国の友好関係を深めることができ、大変嬉しく思います。

デンマーク女子代表チームは、長年のブランクを経て、2018年に復活しました。現在、継続的な強化プログラムを作り上げるべく、活動を続けております。

世代交代の過程にある、今後を担う大学生の選手達と、ベテランの選手達が一緒になった我々のチームが、どのように戦えるか、楽しみにしております。

On behalf of the Danish Basketball Federation, we are very thankful for the kind invitation from the Japan Basketball Association.

It is a great pleasure to visit your fantastic country, and play these international games, as well as the opportunity to strengthen our relationship.

Our women's national team was resurrected in 2018 after many years of absence. We are in the process of creating continuity in our program by, among other things, retaining senior players to cope with the generational shift we are in. Our college players are available during the summer and we are now looking forward to getting them back on the team.



三井不動産株式会社 代表取締役社長
President and Chief Executive Officer, Mitsui Fudosan Co., Ltd.

植田 俊 Takashi Ueda

「三井不動産カップ 2023 バスケットボール女子日本代表国際強化試合」の開催に際し、心よりお祝いを申し上げます。

弊社は人々の暮らしを豊かにする街づくりに取り組んでおりますが、国内では新型コロナウイルスが先月から感染症法上の5類として扱われるようになり、ポストコロナ時代として人々のリアルへのニーズは一層高まるものと考えています。そのような背景をうけ、弊社ではさらに、スポーツの力を活用した街づくりを推進していく所存でございます。

リアルな空間での感動体験の代表的なものがスポーツであります。こういった思いを世界に挑むAKATSUKI JAPAN女子日本代表の姿に重ね合わせ、2016年よりオフィシャルパートナーとして応援しています。

パリ2024オリンピックが来年に控えている中で、本大会において両国の選手が日ごろの練習の成果や鍛えぬかれた精神力、卓越したスキルを存分に発揮され、力のこもった熱戦が繰り広げられることを期待しています。

I would like to extend my heartfelt congratulations on the holding of the Mitsui Fudosan Cup 2023 Japan Women's National Basketball Team International Warm-up Games.

Mitsui Fudosan is working to create neighborhoods that enrich people's lives. Since COVID-19 came to be treated as a Class 5 illness under infectious disease prevention laws in Japan last month, I believe that people's real-world needs will increase even further now that we are in the post-COVID-19 era. This has inspired us to redouble our efforts in harnessing the power of sports in urban development.

Sports epitomize inspirational experiences in real spaces. Mitsui Fudosan has supported the Japan women's basketball team, AKATSUKI JAPAN, as an official partner since 2016, as they espouse this belief in taking on the global stage. With the 2024 Paris Olympics coming up next year, I look forward to seeing the players from both countries unleash the results of their daily practice, disciplined mental toughness, and outstanding skills in a fierce battle.

重症化前にも対応できる保険。

重症化前だ！
対応できない！

3大疾病接近！
対応許可を。

最新型なら
いけます！

みたいな感じですか？
新しい
3大疾病保障保険。

3大疾病保障
が更に充実。

重症化前 **+** **がん**
急性心筋梗塞
脳卒中

※実際のお支払いにあたっては所定の条件がございます。※保障の対象となる疾病は当社所定の条件をみたまのみに限ります。

重症化前の疾病も保障することで
早期発見・早期治療から
サポート。

ニッセイ **みらいのカタチ**

3大疾病 **3充マル**
新3大疾病保障保険

ですかね...
ニッセイ・ニッセイ
パートナー



※ご検討にあたっては、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおりー定款・約款」を必ずご確認ください。

(登) 日本22-950,22/4/1,業務部

Play, Support.

さあ、支えることを始めよう。



日本生命

冷静&情熱のリーダー

恩塚 亨

Toru ONZUKA
女子日本代表ヘッドコーチ

女子日本代表が 激しく戦う姿を見てほしい

きたるFIBA女子アジアカップ2023は6連覇がかかるだけでなく、上位4チームがパリ2024オリンピック世界最終予選に進むという重要な大会だが、その試金石となるのが、この三井不動産カップ2023だ。「一戦必勝で、目の前の戦いに臨む」という恩塚亨ヘッドコーチ(HC)が、女子日本代表をどのようなチームに昇華させようとしているのか、話をうかがった。

相手の妨害を乗り越えることがカギに

—東京2020オリンピックはアシスタントコーチとして、その後はHCとして女子日本代表に携わっていられますが、銀メダルを取ったことで対戦国からのマークのされ方は変わりましたか？

恩塚HC 東京2020オリンピックのときは、こちらがわりとやりたいことをやった上で、相手がそれに対応してくるというものでした。しかし今は、その手前で相手に妨害されるようになり、戦い方を変えなければならなくなりました。“自分たちの力をいかに発揮するか”ではなく、“妨害を乗り越えること”がカギとなりました。例えばアーチェリーやフィギュアスケートは、競技の特性上、自分の技術を発揮する権利が保障されています。一方、バスケットボールでルール上保障されているのは“相手を妨害する権利”だけ。ディフェンスで妨害することに関してはわりと戦えていると思いますが、オフense時に相手の妨害をどう乗り越えていくのが課題で、合宿や遠征を通じて取り組んでいます。初めは意識しないとできないことですが、それを無意識でできるレベルまで持っていくことが目標です。

—体格で劣る女子日本代表にとっては、そう簡単なことではないと思います。

恩塚HC そのために掲げているのが「ポジション力(機動力)」「強化システム」「カオスを制する戦い」というテーマです。FIBA女子ワールドカップ2022では、フィジカルで妨害されて相手ディフェンスを乗り越えられませんでした(日本は予選ラウンドを突破できず9位)。その妨害を越えるためにカギとなるのが、ポジショニングやシステム、カオスを制する戦いです。40分間、高いエネルギーで攻め続けることでチャンスを掴む。それが、すごく大事だと考えています。また、相手が妨害してくる中で自分たちの力を出すには“闘争する”ことも大切です。持っている100%の力を常に出し続けられるのか。そして、100%の力を101%や102%



恩塚 亨：1979年6月5日生まれ/大分県出身/筑波大卒業→早稲田大大学院修了/2002年から渋谷教育学園中学校・高校の女子バスケットボール部を指導。2006年に東京医療保健大の女子バスケットボール部を創設し、2017年～2020年には全日本大学選手権4連覇。2015年ユニバーシアード女子日本代表アシスタントコーチ、2017年からは女子日本代表アシスタントコーチを務め、2021年9月にヘッドコーチに就任

にできるのか。そこにもこだわって追求しているので、ファンの皆さんには女子日本代表が激しく戦う姿を見てほしいと思っています。

—それは現在、恩塚HCの理想が100とすると、どのくらいの割合でできるようになっているのですか？

恩塚HC そこが相手によってレベルが変わってくるバスケットボールの難しいところで、この妨害のレベルに対しては突破できるけれど、このレベルの妨害だとならずにしまう、ということになるので一概には言えません。

デンマークは対オーストラリアを想定

—6月26日には、6連覇がかかっているだけでなく、上位4チームがパリ2024オリンピック世界最終予選に進むという重要なFIBA女子アジアカップ2023が控えています。

恩塚HC 6連覇を意識することなく、もちろん優勝を狙っていますが、一戦必勝で目の前の戦いに臨みます。

—開催地がオーストラリア・シドニーということで、FIBAランキング3位(2月28日付)の地元オーストラリアは初優勝へのモチベーションが高

いですし、FIBA女子ワールドカップ2022で準優勝した中国(同2位)も強敵です(日本は同9位)。

恩塚HC オーストラリアはフィジカルが強いチームなので、ゴール下の攻防がカギになると思います。ダイブしてくる選手、リバウンドを取りに来る選手にどう対処するのか。そうした相手の行動を制するための準備はしています。中国は、高さがあるのはオーストラリアと一緒に、以前に比べて難しいことをしなくなった印象です。バランスがよくなり、崩れなくなっています。それに対して私たちがトレーニングしてきたことをアジャストさせて、いかに力を発揮し続けることができるかがポイントになると思います。

—デンマークと対戦するこの三井不動産カップ2023は、そのための試金石になると思います。

恩塚HC 相手の妨害がある中でやりたいことをちゃんとやり切れるかは、練習も大切ですが、実戦の中で、相手とのやり取りの中でつかんでいくしかないと思います。そうして乗り越えることが、自信にもつながります。デンマークはサイズがあってフィジカルも強いので、オーストラリアを想定できる価値ある相手。内容のある試合をできれば、と思っています。

私は
スポーツが
好きです。
広瀬すず

どんな世界になっても、
スポーツは
私たちを夢中にさせる。
スポーツは
私たちに勇気をくれる。
スポーツは
私たちに希望をくれる。
スポーツは
私たちの心をつなぐ。
分かち合った感動が、
私たちの明日を変えてゆく。

この世界に
スポーツがあってよかった。
私はスポーツが好きです。



TEAM JAPANゴールド街づくりパートナー
JPCオフィシャル街づくりスポンサー



BE THE CHANGE

キャプテンは日本を代表する3Pスナイパー

林 咲希

Saki HAYASHI

自分なりのキャプテンシーで 日本に勝利を!

東京2020オリンピックのベルギー戦で放った林咲希の逆転3Pシュートは、バスケットボール界の歴史を変えた。その後、林は日本代表のキャプテンに就任し、現在はFIBA女子アジアカップ2023の6連覇獲得へと意欲を燃やす。一時は故障に泣いたが、完全復活した日本の3Pスナイパーに注目。

全然違うプレースタイルを アピールしたい

— まずキャプテンの役割をどのように考えていますか？

林 今はもっといろいろやらなければと思いつつも、自分の雰囲気やチームを引っ張る行動をみんなに見せられたらと思っています。恩塚亨ヘッドコーチ(HC)もそこを評価してキャプテンにしてくださいだったので、思い切って自分の伝えたいことをみんなに伝えて、練習は手を抜かずにやりきることをまず意識しています。それから、選手が難しいと考えていることや、いいなと思っていることなどを恩塚HCに伝えて、課題をクリアしていきたいと思っています。

— ご自身をひとりで表現すると？

林 真面目すぎるんですかね。もっと強気になればいいところで冷静になったり、攻め気があるのにちょっと心配性なところもあって、キャプテンというのはそういう部分はない方がいいから、そこはなくしていきたいところです。

— 高田真希キャプテンという偉大な方がいました。林選手は高田キャプテンをどう見ていましたか？

林 もう完ぺきでした。頭もいいし、的確な言葉をかけていて、自分にはないところがすごくあります。でも、自分は明るさや雰囲気作りはできていると思うので、そこをプラスにしてやっていきたいです。それにこれからも高田選手の力を借りながらやるんだらうとは思っています。

— ヘッドコーチがトム・ホーバスさん(現男子日本代表HC)から恩塚HCに代わってバスケットボールもすごく変わりました。ご自身としてはどうですか？

林 本当にガラッと変わりました。トムさんはフォーメーションが多かったのですが、恩塚HCの場合は自分たちで状況を考えながらやりきるバスケットボールですから、戸惑ったり、難しいと思いつつも最初はやっていました。今は恩塚HCの考えも理解できましたし、自分たちでバスケットボールを作って、相手の反応を見ながらプレーをするのはすごく難しいけれど、それができるようになっ



林 咲希：1995年3月16日生まれ/福岡県出身/173cm/シューティングガード/富士通 レッドウェーブ/精華女子高校時代はインターハイ・ベスト16。白鷗大学では1年次から主力として活躍し、4年のインカレではチームを優勝へと導き、MVPと得点王を獲得。東京2020オリンピックの銀メダル獲得の立役者となり、現在は日本代表キャプテンの重責を担っている。2023年6月、ENEOSから富士通へ移籍

たら楽しいだろうなという考えを持ちながらやっています。そのためにもとにかく実戦をたくさん経験して、課題をクリアしながら日本のスタイルを確立させたいです。

— ご自身のプレースタイルに変化は？

林 今はハンドラーの練習を結構やっています。ガードが止められたときに、自分たちもディフェンスを切っていれば流れが止まらなくなります。動きながらのシュートも多いですし、そこは今までとは全然違うプレースタイルが見せられると思います。

— 林選手というと3Pシュートとみんなに思われていますが、それについてはどう考えていますか？

林 実はWリーグの最初の頃は、不安というか、やらなければいけないという考えがあったんです。でもオリンピックでああいう経験をしたから、今は入るんだと思ってシュートを打っています。代表戦になると緊張して不安にもなりますが、また違った自分を見せられるアピールの場になると思ってプラスに捉えてやっていきたいです。

足を止めるな! 勝利のカギはそこにある

— カナダ遠征後は、三井不動産カップ2023、対戦相手はデンマークです。この大会をどう捉えていますか？

林 まずカナダ遠征で出た課題をデンマーク戦で解消すること。そして、今年はFIBA女子アジアカップ2023で結果を残すことが最終的な目標ですから、まずデンマーク戦では皆さんに自分たちが成長している過程を見ていただき、そして、デンマーク戦で見つけた課題をクリアにしてFIBA女子アジアカップ2023に臨みたいと思っています。

— カナダ遠征でのテーマは何だったのですか？

林 まず足を止めないこと。FIBA女子バスケットボールワールドカップ2022を見て感じたのは、足

が止まったのが敗因の一つだったこと。そこをまず解消するのがテーマでした。日本の速さが全然出せなかったですから。あとはボックスアウトとリバウンドです。これはずーっと課題としてやってきています。(※林はWC故障欠場)

— 体的に結構しんどいですよね。

林 はい。試合中は6分区切りでやっているんですけど、厳しくなったら一声かけたりしています。だから100%のプレーを出せる状況でコートに立たなければいけないので、それができない状況になったら自分から申告しなければと思います。それもチームのための仕事ですし、そういうこともみんなに伝えていきたいと思っています。

— FIBA女子アジアカップ2023の予選ラウンドは、チャイニーズ・タイペイ、フィリピン、オーストラリアの順で戦います。

林 アジアのチームも日本に対して結構アジャストしてきているから、どのチームとの対戦も本当に気を抜けません。チャイニーズ・タイペイはどのくらい成長しているかわかりませんし、フィリピンとオーストラリアはアジアの国とは違う強さを持っているので、どれも楽な戦いは決してないです。100%の状態でみんながコートに立ってアグレッシブに戦いたいです。

— 予選ラウンドではオーストラリアが強敵となります。どのような戦い方を目指しますか？

林 まず相手の意表を突くようなスピード。アジリティと言っているのですが、アジリティは足の速さだけでなく頭の回転も入っています。海外の選手より頭の回転を速くして、あとはタイミングです。走るタイミングをズラせば、自分たちにも勝ち目はあるはず。そういうズレをいろいろ作って、40分間プレーできるようにすれば絶対に勝てると思います。それができなかつたら負ける。簡単な考えですが、そこがまずいちばん重要です。だから、みんなが自分の力を出し切ってやれた結果で勝ちたいです。

持ち前の機動力で代表にスパイスを加える

東藤 なな子

Nanako TODO

勝利に貢献できる 選手になりたい

フィジカルの強さを生かしたアタックとディフェンス力を買われて、東京2020オリンピックでは銀メダル獲得に貢献した東藤なな子。当時、20歳。現在も22歳と代表の中では若いメンバーの一人だが、欠かすことのできない主要な選手へと着実に成長し続けている。

東京2020オリンピック後は プレーの幅が拡大

——日本代表として試合を重ねるごとに成長されている東藤選手ですが、ご自身では日本代表での経験についてどのように思っていますか？

東藤 トム・ポーバス前ヘッドコーチ(HC)の東京2020オリンピックのときは、自分は1対1、ペイントアタック、キックアウト、そしてディフェンスという役割を求められていました。恩塚亨HCに代わってからは3Pシュートにも力を入れたり、自分がハンドラーとしてピックを使う立場にもなったので、プレーの幅がすごく広がっているなど実感しています。

——そうしてプレーの幅が広がることは、自分でも望んでいたことですか？

東藤 はい、東京2020オリンピックのときも、世界を相手に戦うとき、自分の身長だとペイントアタックだけで点を取るのには難しく、『やっぱり外のシュートもないと自分の良さが生きてこない』と感じていました。またFIBA女子ワールドカップ2022でガード陣が止められたときに『代わりにプレーできるような選手が必要だな』と感じ、『今は自分がそういう役割をできないとダメだ』と思い、ハンドラーとしてもしっかりプレーできるように努力しているところです。

——そうした役割については、恩塚HCともコミュニケーションを取っているのですか？

東藤 合宿の前後に「こういうこともやっていけるようになってほしい」と言われています。

——やるべきことが決まっていると集中しやすくて、プレーの幅が広くなると戸惑いもあるような気がするのですが、そこはどうですか？

東藤 東京2020オリンピックのときは一人ひとりに役割が決まっていたので、この人はこういうプレーをする、という共通理解がありました。決勝戦でアメリカと戦うまでは、それがうまく機能していましたが、アメリカ戦ではポジションごとに役割が決まっていたぶんアジャストされやすく、封じられてしまいました。そこを越えるには、今のように誰でも3Pシュートが打ってドライブに行けることが必要ですし、チーム的にも、5人の誰がどんな動きを



東藤 なな子：2000年11月29日生まれ／北海道出身／175cm／スモールフォワード／トヨタ紡織 サンシャインラビッツ／新川中学時代に全国中学生大会でベスト16、札幌山の手高校時代にインターハイ・ベスト16、ウインターカップ・ベスト8をマーク。2018年U18アジア選手権準優勝。東京2020オリンピックにはチーム内最年少として選出され、銀メダル獲得に貢献

してもすぐに全員が対応できるという力も必要になってくると思います。その状況判断を的確にするには、冷静さや頭の切り替えがすごく大事になってきます。難しいですが、いろんな人がいろんな所に動くことで相手ディフェンスを動かし、そこで良い選択肢を選んでフィニッシュ力を高めるということが、恩塚HCが目指しているバスケットボールのスタイルだと思います。

——恩塚HCが目指すそのスタイルは、頭も体も、そして気持ちも使うバスケットボールだと思いますが、慣れましたか？

東藤 ディフェンスをよく見て、いろんな選択肢がある中で選びながらやるという感覚は身に付いてきたかな、と思っています。

一日一日をムダにせず 成長したい

——三井不動産カップ2023ではデンマークと対戦します。東藤選手はどんなテーマで臨みますか？

東藤 相手がどういうディフェンスをしてくるかわからないのですが、FIBA女子ワールドカップ2022ではできなかった、自分がクリエイティブな立場、ピックを使ってそこからチャンスを生んでいくというプレーができたかな、と思っています。最近、そのピックを使う際の判断力に少しずつ自信が付いてきて、例えば、スクリーン側のディフェンスを見て、自分がアタックするのかパスして展開するのか、そこで捕まらずにプレーを流せるようになってきたかなと思っています。

——三井不動産カップ2023の後には、6連覇がかかったFIBA女子アジアカップ2023が控えています。

東藤 6連覇という意識はありますが、一戦一戦戦って、目の前のことに集中した結果が勝ちにつながっていけばいいかなと思います。

——ファンとしては、力を付けてきている中国

(FIBAランキング2位)、オーストラリア(同3位)と、どのような戦いをするのがドキドキワクワクでもあります。

東藤 中国は、東京2020オリンピックのときにすごく力を付けてきていて、みんな身長が高くて、センター陣は体が強く、フォワード陣はシュートの確率が良いという印象でした。そういうチームに対しては、やっぱりディフェンスから、全員でローテーションやプレッシャーをかけて相手のリズムを崩し、相手がやりたいようにやらせないことが大切かなと思っています。オーストラリアは、この前のFIBA女子ワールドカップ2022で戦ったときも、スペーシングがすごくよくて、フィジカルもあって、リバウンドとかもすごく強いことを体感しています。ふだんからオーストラリアの映像を見て、「リバウンドはこういうふうに入ってくるから、そこは意識して全員でフィジカルに戦おう」ということもやっていますし、ディフェンスの面でも一人では守り切れないところがあるので、頭を使って相手のプレーを読みながらできるようにしています。

——改めてですが、東藤選手はまだ22歳。東京2020オリンピックで銀メダルを獲得したのは20歳のときで、すでに素晴らしい実績を残していますが、これから先もまだまだキャリアは続きます。自分の未来に対し、どんな選手像を描いていますか？

東藤 東京2020オリンピックのときは先輩がいたからこそ自分が頑張れましたし、先輩たちの背中を見て追いかけてきたという部分が大きかったと思います。これからは自分ももっと勝利に貢献できる選手になりたいと思っていて、そのためには、先を見据えるというよりは、本当に一日一日一生懸命やって、一日一日をムダにしないで成長できたらいいな、と。その結果として、どこからでも点が取れたり、頭を使って、いつも冷静に、ディフェンスを見ながらプレーできるような選手になりたいと思っています。

Beyond 



今日が一番でも

明日は新しい始まり。



“妨害”を乗り越えた 先の“栄冠”を目指して

三井不動産カップ2023は FIBA女子アジアカップ2023への試金石

6月26日に開幕するFIBA女子アジアカップ2023は、女子日本代表にとって非常に重要な大会だ。6連覇がかかっているだけでなく、パリ2024オリンピック世界最終予選に進むには必ず上位4チームに入らなければならない。

前回のFIBA女子アジアカップ2021はトム・ホーバス前HCから恩塚亨HCに交代した直後の

開催で、東京2020オリンピック銀メダル獲得時の中心メンバーだった高田真希、町田瑠唯を欠いた編成だったものの、林咲希をキャプテンに据え、宮崎早織、オコエ桃仁花、馬瓜ステファニー、山本麻衣らの活躍で大会史上初の5連覇を達成した。しかも準決勝でオーストラリア、決勝で中国と強豪国を破っての栄冠獲得。どちらも第3クォーター終了時点でのビハインドを逆転しての勝利は、日本の勝負強さを印象付けるものだった。

しかし昨年行われたFIBA女子ワールドカップ2022では、日本が予選ラウンドを突破できず9位に沈んだのに対し、中国は準優勝、オーストラリアは3位（優勝はアメリカ）。アジアのライバル国が着実に力を付け、世界大会でも上位に入ったことは、日本にとっては脅威以外の何物でもない。

日本が勝てなかった理由は明確だ。東京2020オリンピックで銀メダルを取ったことで各国に対策を練られ、恩塚HCの言葉を借りるなら、持ち味である機動力と3Pシュートを出す前に妨害されるようになってしまったのだ。もともと体格で劣る日本人選手の弱点を突いてくるシンプルな対策だが、先のFIBA女子ワールドカップ2022ではそれを乗り越えることができなかった。

今回のFIBA女子アジアカップ2023に向けて、そうした妨害を乗り越えていくための対抗策は合

宿で作り上げてきた。果たしてそれが本当に機能するのは、やはり実戦をしてみないと分からず、その意味ではこの三井不動産カップは絶好の機会だ。特に相手のデンマークは高さ&強靭さがあり、仮想オーストラリアとしてはうってつけ。デンマーク相手に思い描いたプレーが出れば出るほど、FIBA女子アジアカップ2023への弾みとなる。

6連覇を阻む強敵は 中国、そしてオーストラリア

そのFIBA女子アジアカップ2023は、8チームが2グループ×4チームに分かれて総当たり戦を行い、その後、各グループの上位3チームが決勝トーナメントを戦うという試合方式。

日本と同じグループBには、FIBA女子ワールドカップ2022で対戦し54-71で敗れたオーストラリアがいる。その試合、日本のスタメン平均身長が180.8cmだったのに対し、オーストラリアは188.6cmと高さで大きなアドバンテージを持っていた。さらに地元シドニーでの開催ということもあり、ホームの大声援を受けることができた。今回のFIBA女子アジアカップ2023も同じシドニー開催で、さらにFIBA女子アジアカップ初優勝を狙うということでオーストラリアのモチベーションが高いことは想像に難くない。大会3日目、グループ戦の最後に戦うオーストラリアとの一戦で、女子日本代表が合宿やこの三井不動産カップ2023の成果を出して勝利をつかみ取れるかが、その後の戦いにまで影響するだろう。

そして、6連覇という点で見ると、身長200cmの李月汝と205cmの韓旭を擁する中国も強敵だ。以前は強引なプレーをすることもあったが、最近はその圧倒的な高さを武器にコツコツと点を積み重ねるスタイルに変化。FIBA女子ワールドカップ2022準決勝で地元オーストラリアを下して準優勝したことも大きな自信となっている。

こうして俯瞰で見ると、日本がFIBA女子アジアカップ2023で優勝するには、僅かな光明に向かって、細いタイトロープの上を渡るようなギリギリの戦いをしなければならない。そうした手に汗握る展開を、最後、ものにするためのカギは何なのか。恩塚HCは“闘争すること”をポイントに挙げているが、確かに勝利の女神は熱い心を持っている方に微笑んでくれるものだ。

FIBA WORLD RANKING 2023年2月28日現在

順位	国名	リ・ソランキグ	ポイント
1	アメリカ	1	848.8
2	中国	1	676.5
3	オーストラリア	2	668.3
4	スペイン	1	665.4
5	カナダ	2	648.9
6	フランス	2	635.2
7	ベルギー	3	632.7
8	セルビア	4	582.9
9	日本	3	578.9
10	プエルトリコ	3	487.4
11	トルコ	5	467.0
12	韓国	4	436.7
13	ブラジル	4	408.7
14	イタリア	6	396.8
15	ボスニア・ヘルツェゴビナ	7	386.3
16	ナイジェリア	1	378.3
17	ギリシャ	8	355.0
18	スウェーデン	9	332.5
19	スロベニア	10	309.0
20	イギリス	11	302.5

SCHEDULE FIBA女子バスケットボールアジアカップ2023

2023.6.26~7.2 @オーストラリア・シドニー

予選ラウンド

グループA	グループB
中国	オーストラリア
韓国	日本
ニュージーランド	チャイニーズ・タイペイ
レバノン	フィリピン

日本戦スケジュール

予選ラウンド (グループB)
6月26日 日本 vs チャイニーズ・タイペイ
6月27日 フィリピン vs 日本
6月28日 オーストラリア vs 日本
決勝ラウンド
6月30日~7月2日



BG5000

FIBA OFFICIAL GAME BALL



刻まれた焼印。
その手に感じる、
確かなコントロール。

モルテン公式オンラインショップ販売中！
詳しくは→



AKATSUKI JAPAN 女子日本代表候補が本音ぶっちゃけトーク 「大会への意気込み」「私が今ハマってること」

馬瓜 ステファニー



犬を飼い始めました。種類はラブラドル・ドゥードル。まだ生後7カ月なので小さいのですが、大人になると結構大きくなります。時間があれば家の近所を散歩しますし、ドッグランに連れていくこともあります。海外遠征にも連れていきたい！

高田 真希



マルシェを開催すると、いろんな人が来てくださいますし、買い物をしながらバスケットボールにも触れていただいています。もっともっと日本のバスケット界を盛り上げたいので、少しでもお役に立てればと思っています。

敷 未奈海



最初は緊張したし、硬くなっていましたが、いろいろなことがクリアになってきました。とにかく、誰よりもルーズボールを追いかけるとか、ディフェンスでも頑張りたいです。

元々好きだったんですけど、『たべっ子どうぶつ』にハマってます。最近はいろんな味があって、抹茶味が美味しかったですね。今年は去年の代表での経験を活かして、さらにレベルアップした姿をファンの皆さんにお見せできるよう頑張ります！

朝比奈 あずさ



数少ない強化試合は、今の日本のレベルを測れる貴重な大会。まずは求められているプレーを出し切って戦います。そして、FIBA女子アジアカップ2023、パリ2024オリンピックを見据えられればと思っています。

本橋 菜子



平下 愛佳



K-POPと韓ドラです。推しは『SEVENTEEN』！13人編成の男性ユニットで、『BTS』と同じ事務所の後輩です。歌もいいし、ダンスがキレッキレなんですけど、YouTubeが面白くて、それからハマりました。韓ドラは面白くて何でも見ますね。

林 咲希



声を出したり、みんなを引っ張ったり、コートにいてもベンチにいてもいつでも戦う姿勢を見せて、3Pシュートはもちろんのこと、ハンドラーとしてもやり切りますよ！

山本 麻衣



自チームでは2番ポジション的なスタイルですが、代表ではポイントガード。ゲームコントロールもしっかりやりたいです。そして、FIBA女子ワールドカップ2022で出せなかった自分の良さをお見せしたいです。

宮崎 早織



日本代表では久しぶりに日本の皆さんの前でプレーするのが楽しみです。私ももう年齢的に中堅ですから、上の人たちとコミュニケーションを取りながら、後輩たちの手助けができればと思っています。

星 杏璃



自動車の免許を取りました。祖母が茨城県に住んでいるので、そこを目的地に海沿いをドライブしたりしています。車は以前から憧れていた『ミニクーパー』で、内装もこだわってオーダーしたので、本当に気に入っています。

東藤 なな子



これまでのペイントアタックに加え、3Pシュートを打ったり、ハンドラーの役割をしたりと、プレーの幅を広げました。日々成長しているプレーを見てください。

赤穂 ひまわり



ゲーム好きです。でも実家はゲーム禁止でした。中学高校は部活が忙しくてやってる暇もなかったので、本当にここ何年かなんですけど、自分で本体やソフトを買えるようになってからですね。欲しい新発売のソフトがあるのですが、今は代表活動中なので我慢してます(笑)

本コエ 桃梨花



日本のプレーも海外でメジャーになってきたせいか、3Pシュートが警戒されるようになってきました。デンマークとの強化試合は、久しぶりの日本のプレー。精いっぱい頑張ります。



Q みえるを広げる

おすすめ記事や機能、
ユーザーエピソード公開中

朝日新聞
DIGITAL

まったく同じ一日はない。だから、今日も新しいニュースを届ける。
まったく同じ人はいない。だから、さまざまな声を発信する。
朝日新聞デジタルは、世の中の出来事を伝えるだけではない。
「多様性」、その生き方や考え方の“違い”を大切に、多くの人へ伝える。
知ることが認め合うきっかけになる、と信じているから。
知ることにより良い未来を描いてほしい、と願うから。
世の中に溢れる誰かの言葉も、情報の真偽も、
さまざまな視点で見て、聴いて、考えて、もがいて、確かなカタチで届けたい。
きょうも、あしたも、伝えたいニュースがある。
今を生きるあなたに役立つ情報を、あなたらしく暮らすために。

朝日新聞デジタル

みえるを広げる。みらいを照らす。

JAPAN

女子日本代表 (AKATSUKI JAPAN)

(2023年2月28日現在)

FIBA ランキング

9位

PF
3



馬瓜 ステファニー (Stephanie MAWUL)

生年月日: 1998年11月25日
身長: 182cm
所属: 公益財団法人日本バスケットボール協会

C
8



高田 真希 (Maki TAKADA)

生年月日: 1989年8月23日
身長: 185cm
所属: デンソー アイリス

SF
11



藪 未奈海 (Minami YABU) ★

生年月日: 2004年10月2日
身長: 178cm
所属: デンソー アイリス

C
12



朝比奈 あずさ (Azusa ASAHINA)

生年月日: 2003年10月20日
身長: 185cm
所属: 筑波大学2年

PG
15



本橋 菜子 (Nako MOTOHASHI)

生年月日: 1993年10月10日
身長: 164cm
所属: 東京羽田ヴィッキーズ

PG
23



山本 麻衣 (Mai YAMAMOTO)

生年月日: 1999年10月23日
身長: 163cm
所属: トヨタ自動車 アンテロプス

SG
27
CAP



林 咲希 (Saki HAYASHI)

生年月日: 1995年3月16日
身長: 173cm
所属: 富士通 レッドウェーブ

SG
31



平下 愛佳 (Aika HIRASHITA)

生年月日: 2002年1月14日
身長: 177cm
所属: トヨタ自動車 アンテロプス

PG
32



宮崎 早織 (Saori MIYAZAKI)

生年月日: 1995年8月27日
身長: 167cm
所属: ENEOSサンフラワーズ

SG
59



星 杏璃 (Anri HOSHI)

生年月日: 2000年5月9日
身長: 170cm
所属: ENEOSサンフラワーズ

SF
75



東藤 なな子 (Nanako TODO)

生年月日: 2000年11月29日
身長: 175cm
所属: トヨタ紡織 サンシャインレビッツ

SF
88



赤穂 ひまわり (Himawari AKAHO)

生年月日: 1998年8月28日
身長: 184cm
所属: デンソー アイリス

PF
99



オコエ 桃仁花 (Monica OKOYE)

生年月日: 1999年2月7日
身長: 182cm
所属: Geelong United Supercats

★=ディベロップメントメンバー: 「FIBA女子アジアカップ2023」には出場しませんが、国際大会の経験蓄積を見越し、「三井不動産カップ2023 (高崎大会)」に出場します。

STAFF



HEAD COACH

恩塚 亨 (Toru ONZUKA)

公益財団法人日本バスケットボール協会

チームリーダー

小栗 弘 (Hiroshi OGURI)

三菱電機株式会社

アシスタントコーチ

鈴木 良和 (Yoshikazu SUZUKI)

株式会社ERUTLUC

アシスタントコーチ

今野 駿 (Kakeru KONNO)

ENEOSサンフラワーズ

スポーツパフォーマンスコーチ

臼井 智洋 (Tomohiro USUI)

公益財団法人日本バスケットボール協会

ドクター

山本 敬之 (Takayuki YAMAMOTO)

国立国際医療研究センター

アスレティックトレーナー

荻野 まゆみ (Mayumi OGINO)

公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレティックトレーナー

吉田 まどか (Madoka YOSHIDA)

おれんじ鍼灸院

マネージャー

成田 明香 (Sayaka NARITA)

三菱電機コアラーズ

マネージャー

小松 佳緒里 (Kaori KOMATSU)

ENEOSサンフラワーズ

テクニカルスタッフ

梅津 ひなの (Hinano UMETSU)

公益財団法人日本バスケットボール協会



すべてを突破する。

TOPPAN
TOPPAN

DENMARK

女子デンマーク代表

(2023年2月28日現在)

FIBA ランキング

52位



Enna PEHADZIC

生年月日: 1997年2月24日
身長: 179cm



Emilie GUDMAND

生年月日: 2001年5月9日
身長: 177cm



Frida FORMANN

生年月日: 2001年1月22日
身長: 180cm



Alberte RIMDAL

生年月日: 2002年1月28日
身長: 175cm



Sofie TRYGGEDSSON

生年月日: 1995年8月7日
身長: 182cm



Caroline WICH

生年月日: 1996年10月16日
身長: 186cm



Elisabeth BRYNAA

生年月日: 2003年5月12日
身長: 177cm



Anna SEILUND

生年月日: 1993年11月15日
身長: 175cm



Ena VISO

生年月日: 1993年7月9日
身長: 178cm



Maria JESPERSEN

生年月日: 1994年1月6日
身長: 181cm



Sydney ERIKSTRUP

生年月日: 2001年11月5日
身長: 187cm



Laura ZIEGLER

生年月日: 2002年7月23日
身長: 185cm



Asta BLAUENFELDT

生年月日: 2002年6月12日
身長: 168cm



Laura ERIKSTRUP

生年月日: 2001年11月5日
身長: 188cm

STAFF



HEAD COACH

Alva STARK

1st Assistant coach
Mathias MADSEN

2nd Assistant coach
Ole John NIELSEN

Physio
Anne HEE

Team manager
Pierre MULLER

Head of delegation
Jorgen FASTBERG



NICHIBAN

AKATSUKI
JAPAN

ニチバンは JBA / バスケットボール日本代表のオフィシャルサプライヤーです



©JBA





AKATSUKI JAPAN plus⁺

バスケットボール日本代表 公式 FUN サイト

新規入会受付中!!

入会は
こちら



AKATSUKI JAPAN plus⁺は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ

AKATSUKI JAPAN plus⁺に入会すると!



チケット

AKATSUKI JAPANの国内全試合やJBA主催試合[※]のチケットをどこよりも早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。



映像・音声コンテンツ



豪華ゲストを迎えたオリジナルポッドキャスト番組「WJUNのシックススマンスハーフタイム」や代表選手へのインタビュー映像などを配信!



会員限定コンテンツ



毎月更新のAKATSUKI JAPAN 男女のカレンダー、限定コラム、また AKATSUKI JAPAN になりきり、ブロックショットを次々と決めゴールを守るオリジナルゲーム「Block it Out!!」などここでしか得られない会員限定コンテンツを配信!



メルマガ登録受付中

AKATSUKI JAPAN plus⁺にてメールマガジンの登録をすると、バスケットボール日本代表に関する「AKATSUKI JAPAN plus⁺メールマガジン」を受信できます!是非登録してみてください。



AKATSUKI JAPAN plus⁺ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。
<http://akatsukijapanplus.jp>

アカツキジャパンプラス 🔍



AKATSUKI JAPAN 公式オンラインショップ

バスケットボール日本代表の公式グッズを通販でご購入いただけます!
https://akatsukijapanplus.jp/online_shop/





※ 出場予定選手

チケット / 大会情報は [こちら](#) ▶

